

2018年7月2日

報道関係各位

東京建物株式会社

環境配慮型大規模複合ビル 東京スクエアガーデン 省エネルギー型の冷房システム等の運用を開始

東京建物株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：野村 均）は、多面的な環境対策の取り組みを行う東京スクエアガーデン（東京都中央区京橋3-1-1）において、東京都が推進する「暑さ対策推進事業」の対象事業に認定された省エネルギー型の冷房システム等を設置し、本日より「涼霧システム」の運用を開始したことをお知らせします。



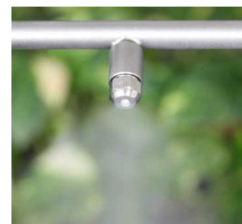
■東京スクエアガーデンにおける「暑さ対策推進事業」とは

①「涼霧システム（微細ミスト噴霧装置）」の設置

東京スクエアガーデン地下駅前広場から1階ガラス庇下に向け、屋外・大空間冷房システム「涼霧システム（微細ミスト噴霧装置）※1」を導入しました。本システムは、霧吹き霧より細かい霧（平均粒子径10~30 μ m）を噴霧し、人やものを濡らすことなく周辺温度を3~5 $^{\circ}$ C低下させる省エネルギー型の冷房装置です。都市のヒートアイランド対策や人や動物などの熱中症対策として高い効果を示し、かつ経済性にも優れており、消費電力およびCO₂排出量は業務用エアコンの約1/40※2と環境に優しい冷房システムです。

（※1）株式会社いけうちにより開発。

（※2）株式会社いけうちの比較による。



● 「涼霧システム」設置概要

設置場所 : 東京スクエアガーデン 地下駅前広場～1階ガラス底下
 設置位置 : 地表約3mの高さに50cm間隔(ノズル:計60個)
 噴霧面積 : 約140㎡
 噴霧時間 : 8:00～19:00

● 「涼霧システム」噴霧条件

以下の噴霧条件のもと、噴霧・停止を自動で制御し、無駄なく作動させることで電気・水を節約します。

東京スクエアガーデン「涼霧システム」噴霧条件

| | |
|----|-----------|
| 気温 | 27.5℃以上 |
| 湿度 | 70%未満 |
| 風速 | 4m/sec 未満 |

②遮熱性フィルムの設置、減熱性素材の追設

「涼霧システム」の導入に加え、地下駅前広場のガラス庇に遮熱性フィルムを貼付しました。また、中央通り沿いの既設の石製ベンチに減熱性素材(Sウッドプラス)※3を追設することで、座る人が熱さを感じにくいベンチに加工しました。

(※3) 株式会社サカエにより開発。



(株式会社サカエの総合カタログより抜粋。比較対象は同社従来品)

■ 「暑さ対策推進事業」とは

東京では、猛暑日や熱帯夜が増加するなど夏の暑さが課題となっており、また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催といった観点からも、暑さ対策を進めていくことが求められています。東京都は、東京2020大会競技会場周辺かつ観光客等が多く集まる、注目度が高い地域において、人の感じる暑さを緩和するクールエリアを創出する事業を実施しています。今回の東京スクエアガーデンにおける涼霧システム等の設置工事は、東京都が推進する「暑さ対策推進事業」の対象事業に認定され、東京都の補助を受けています。

■東京スクエアガーデンにおける環境対策について

- ・国内トップレベルの環境性能を持つ環境配慮型の複合ビルとして、自然・再生エネルギーの活用、自然換気システムや高効率熱源機器などの最先端の省CO2技術の導入に加え、建物外装における日射を遮る大庇の設置など、様々な環境対策に取り組んでいます。また、約3,000㎡に及ぶ重層的緑化空間「京橋の丘」など、低層部に緑豊かなオープンスペースを創出し、利用者・来街者に憩いの場を提供するとともに、ヒートアイランド対策に寄与する都心のクールスポットを形成してまいりました。
- ・また、ビルそのものにとどまらない広域的な環境改善に取り組むべく、本ビル6階には周辺地域のCO2削減などに取り組む「京橋環境ステーション」を設置し、周辺地域一体となった“エコな街づくり”の推進に寄与しています。

東京建物では、グループ環境方針「緑あふれる潤いのある街・暮らしの創造」「地域をリードする温暖化防止」「地域に優しい省資源活動」「環境意識の高い社員づくり」のもと、今後も持続可能な社会づくりに向け、環境に配慮した事業活動を進めてまいります。

【物件概要】

名 称 東京スクエアガーデン
所 在 東京都中央区京橋三丁目1番1号
敷地面積 約8,130 m²
延床面積 約117,000 m²
階 数 地下4階・地上24階・搭屋2階
用 途 事務所・店舗・交流施設・医療施設・子育て支援施設・駐車場等
竣 工 2013年3月

以 上